

青森公立大学 国際芸術センター青森[ACAC]
アーティスト・イン・レジデンス プログラム2026 「EAT」
事業概要および応募要綱

1 事業概要

国際芸術センター青森(ACAC)では、開館からほぼ毎年公募によるアーティスト・イン・レジデンス(AIR)プログラムを行っています。今年度は、リサーチ・滞在制作とその成果発表を行う「クリエイター枠」に加えて、作品の制作発表を主眼としないリサーチャーやキュレーターなど幅広い表現者に参加してもらうために「メディアイーター枠」を新たに設定しました。「クリエイター枠」の滞在制作の成果は、作品展示、パフォーマンス、ワークショップ等、形式を問わず成果発表期間に実施していただきます。「メディアイーター枠」は成果発表を必須としませんが、リサーチ活動の前提として「クリエイター枠」の参加者や地域住民との対話や協働に積極的であることが望まれます。いずれもリサーチや制作、各種イベントの実施から成果発表まで ACAC スタッフがサポートします。また、ウェブサイトやカタログ等を通じてその活動を広く公開します。

滞在期間は2026年10月9日から12月9日の61泊62日をコア期間として、その期間は原則ACACに滞在をしてもらいます。希望する場合は2026年9月15日から12月15日までの最長91泊92日の滞在ができます。なお、活動内容と期間が合致していることが推奨されます。

公募型のAIRプログラムでは毎年異なるプログラムのタイトルを掲げており、2026年度は「EAT」というテーマの元事業を実施します。ACACが位置する八甲田山系の麓には、多様な生物が生息し、野草や木の実、山菜類など、豊かな食の環境が広がっています。一方で近年、熊や猿といった野生動物の出没が増え、人間以外の存在とどのように共存していくのかは、地域にとって切実な課題となっています。こうした変化は、気候変動を含む人間活動の影響と無関係ではありません。「食べる」という行為は、人間だけでなく、すべての生命にひらかれた営みです。本年の公募型AIRでは、この「食」を起点に、人間中心の視点を離れ、他種や環境との関係性をあらためて捉え直すことを試みます。ここでの「食」は、調理や採集といった実践に限らず、記憶や物語、信仰、流通などを含む広義のものとして捉えられます。参加者には、土地に身を置き、思考と実践を往復しながら表現に取り組む姿勢を期待します。

2 公募人数

①クリエイター枠

リサーチ、制作、成果発表などの創作活動を行う。希望する場合はサブプログラムの実施が可能。

海外在住者：1-2名

日本在住者：1-2名

②メディエーター枠

地域に暮らす人々や「クリエイター枠」の参加者との対話や協働を意識してリサーチ活動に取り組む。希望する場合はサブプログラムの実施が可能。リサーチの報告を提出する。

居住地不問（日本・海外）：1名

***クリエイター枠とメディエーター枠はどちらか一方のみ応募が可能です。**

3 事業日程

・招へい期間

2026年10月9日から12月9日の61泊62日をコア期間として、その期間は原則ACACに滞在をしてもらいます。希望する場合はプログラム期間である2026年9月15日から12月15日までの最長91泊92日の滞在が可能です。

コア期間：2026年10月9日（金）－12月9日（水）

プログラム期間：2026年9月15日（火）－12月15日（火）

・公募期間、選考日程

公募期間：2026年2月25日（水）－4月10日（金）日本時間17:00

選考日程：4月10日（金）日本時間17:00 募集締め切り（必着）

5月上旬 ACAC学芸員等による一次審査

5月下旬 ゲスト審査員とACAC館長・学芸員等による二次審査

6月下旬 招へい者決定、審査結果通知

4 応募方法

応募フォームに記入された内容および添付資料による審査

*応募書類および添付資料は、**4月10日（金）日本時間17:00必着**で、以下の応募フォームから提出していただきます。

*Googleフォームでの応募が不可能な場合はACACのウェブサイト上にあるお問い合わせフォームからご相談ください。

応募フォーム：<https://forms.gle/3wojKWZ3GCgQjrjC7>

注意事項

・応募については、事業概要および応募要綱2026、応募フォーム記入要領2026、応募フォ

ームに記載の注意事項をよくお読みください。

・応募の受付は、フォーム送信後に表示される確認メッセージにかえさせていただきます。また、フォーム送信後、回答のコピーが入力したメールアドレス宛に送信されます。メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダ等をご確認ください。見つからない場合は、お問い合わせください。

5 選考および通知

提出された資料をもとに、2026 年度ゲスト審査員・岩間朝子氏と、ACAC の館長・学芸員等による審査によって選考、決定されます。審査の結果は、2026 年 6 月下旬に応募者にメールで通知します。

6 応募条件

- a) アーティスト及びキュレーター、プロデューサー、アートマネージャー、アートコーディネーター、リサーチャー、文筆家、研究者、デザイナーなど芸術表現に関わる活動を行っている個人・グループ。(ジャンルは問わない。以下「参加者」と表記する。)
- b) プログラムの目的を理解し、決定された招へい期間中に滞在及び参加が可能であること。
*ただし、主催者により必然性が認められた場合は、リモートでの活動も可とする。
- c) 「クリエイター枠」は成果発表期間に滞在制作の成果を発表すること。(作品展示、パフォーマンス、ワークショップ等、形式は問わない。)
「メディアイーター枠」は「クリエイター枠」の参加者との対話や協働を意識してリサーチ活動に取り組み、リサーチ報告を提出すること。
- d) 英語あるいは日本語で意思の疎通ができること。
- e) 健康状態が良好であること。(生活にサポートが必要な場合は、事前に相談すること。)
- f) 展示及びイベントの設営・撤去を ACAC スタッフと協働で行うこと。
- g) 期間中、他の参加者との共同生活が可能であること。

7 成果発表について

開催期間：11 月 14 日（土）－12 月 6 日（日）

レセプション：11 月 13 日（金）

* 搬入：11 月 9 日（月）－11 月 12 日（木）、搬出：12 月 7 日（月）－12 月 8 日（火）

* 会場構成に関しては、ACAC スタッフとの協議の上決定します。

8 主催者および参加者の招へい条件

プログラムを行うにあたり、**主催者**と**参加者**は、以下の条件を含む契約を締結することにより、プログラムを遂行することとします。ただし、**招へい条件における主催者からの負担内容は、参加者が単身で青森市に來訪することを原則としたもので、基本的に同伴者は不可とします。グループ等複数人での応募も可能ですが、その場合、1グループを1参加者とみなし、交通費、滞在制作活動費、サブプログラム謝金、宿泊日当など全て1名分の支給となります。**また、特別な理由により家族、制作アシスタント等を伴う場合は、主催者による必要が認められた場合、参加者以外の方の交通費、宿泊費（1人1泊2,040円）はご負担いただきます。

*この応募要綱に記載されている金額はすべて税込みです。

項目	内容
○來青に係る事項	
交通費	<p>主催者は、公立大学法人青森公立大学旅費規程により、会期中の1回分の往復交通費を支払います。日本在住者は、基本的には最寄りの駅からACACまでの交通費を支払います。海外在住者は最寄りの国際空港から青森空港と青森空港からACACまでの交通費を支払います。</p> <p>*参加者が青森に到着してからの支払いとなります。</p> <p>*上限額は、日本在住者100,000円、海外在住者300,000円とします。</p> <p>*青森市内居住者の場合、交通費の支給はありません。</p> <p>*物品輸送に係る費用は自己負担となります。</p>
ビザ	海外在住の 参加者 は、必要に応じて日本入国の旅券、ビザを取得する必要があります。（費用は自己負担）
○滞在中の活動に係る事項	
活動内容	<p>「クリエイター枠」の参加者は滞在期間中にリサーチ、作品制作など自身の芸術表現に関わる活動を行う以外に、成果発表を行うこと。</p> <p>「メディアイーター枠」の参加者は滞在期間中に地域に暮らす人々や「クリエイター枠」の参加者との対話や協働を意識してリサーチ活動に取り組み、リサーチの報告を提出すること。</p>
制作費・活動費	主催者 は、主催者が必要と認める制作活動に係る制作費（調査費、材料費、展示設置費、撤収費を含む）として「クリエイター枠」の 参加者 に300,000円を支払います。

	<p>主催者は、主催者が必要と認めるリサーチ活動に係る活動費として「メディアーター枠」の参加者に 50,000 円を支払います。</p>
成果発表	<p>発表場所および最終的なプランは、「クリエイター枠」の参加者と ACAC スタッフとの協議の上決定します。</p> <p>プログラム運営のため、開催期間に合わせて成果発表を開催できるようご協力ください。</p> <p>展示作業やイベント開催に係る準備は原則として「クリエイター枠」の参加者本人が行います。展示期間中の作品の定期的なメンテナンスが必要な場合も、施設の開館時間内に「クリエイター枠」の参加者が責任を持って行ってください。</p> <p>*リモートでのプログラム参加の場合、展示作業、メンテナンス等は「クリエイター枠」の参加者と ACAC スタッフとの協議の上、ACAC スタッフが行います。</p> <p>主催者は、展示等の成果発表に係る演出上必要と思われる素材（キャプション、パネル他）等を「クリエイター枠」の参加者と協議の上用意します。</p> <p>会場を複数の参加者で使用するため、作品に光や音を使う場合は間仕切りの設置やヘッドフォンの使用などについての協議および調整が必要となります。</p>
成果発表終了後の作品等について	<p>「クリエイター枠」の参加者は成果発表終了後、作品等を自身で撤去しなければなりません。作品を持ち帰る際の梱包は、「クリエイター枠」の参加者自身で行ってください。輸送費は「クリエイター枠」の参加者の自己負担とします。</p>
サブプログラム	<p>サブプログラムは成果発表とは別で行うトーク、レクチャー、パフォーマンス、ワークショップ、学校訪問等、地域住民との交流に主眼を置いたプログラムです。参加者が希望する場合、サブプログラムの実施が可能です。</p>
サブプログラムに関する経費・謝金	<p>参加者がサブプログラムの実施を希望する場合、主催者は参加者との協議の上、サブプログラムに必要な材料を用意し、経費を負担します。ただし、経費は 1 組あたり 10,000 円の上限があります。また、主催者は、謝金として 50,000 円を参加者に支払います。</p> <p>*サブプログラムを複数実施する場合でも謝金は 1 組あたり 50,000 円とします。</p>
滞在制作場所	<p>主催者は、プログラム中の滞在制作場所として、プログラム期間内に</p>

	<p>限り、ACAC の創作棟を無償で貸与します。</p> <p>* 創作棟は全て共同での使用となります。個室はありません。</p> <p>主催者は、創作棟の定期清掃を行います。 参加者の使用の範囲内における清掃は、 参加者が行います。また、 参加者は、プログラム期間中の制作活動の終了後、すべての施設、備品を原状復帰の状態主催者に返却しなければなりません。</p>
○滞在生活に関する事項	
宿泊日当	<p>主催者は、公立大学法人青森公立大学旅費規程により、プログラム期間における滞在中の宿泊日当を支払います。但し、個人的な理由による旅行等で青森県外に出て宿泊した日数分は支給されません。到着が遅れた場合、帰宅日が早まった場合も同様とします。</p> <p>* 宿泊日当は1泊あたり2,400円となります。</p>
宿泊場所	<p>主催者は、プログラム期間内に限り、滞在中の宿泊場所として、ACACの宿泊棟の個室および付帯施設を無償で貸与します。(シングルルーム、各19.44㎡)</p> <p>参加者は、浴室、キッチンを共同で使用することができます。また、 主催者は宿泊棟の定期清掃を行います。 参加者の個室、およびキッチン使用後の清掃は、 参加者が各自で行います。</p> <p>なお、 参加者は、帰宅時に、使用したすべての施設を原状復帰の状態主催者に返却しなければなりません。</p>
通信	<p>参加者は、施設内に備え付けられた無線LANでインターネットを利用することができます。</p>
保険	<p>主催者は、参加者の滞在中における傷害に対応した保険契約を実施し、負担します。健康保険等につきましては、ご自身でご加入ください。</p> <p>* 成果発表やサブプログラムで発表される作品等については保険の対象となりません。</p>
○その他	
活動の記録	<p>主催者は、本プログラムにおける参加者の作品および活動を写真、ビデオで記録します。 参加者は、上記記録のためご協力ください。本プログラムで制作された作品の著作権は、すべて 参加者本人に帰属しますが、主催者が記録した写真、映像等の著作権および公益に資する広報宣伝のためにそれらを使用する権利は 主催者に帰属するものとし</p>

	ます。また、主催者の了承を受けた者はこれらをすべて無償で使用できるものとします。
カタログ作成について	主催者 は、プログラム記録のためのカタログを作成します。また、作成したカタログ 20 部を 参加者 に進呈します。
メディア対応への協力	参加者 は、メディア各社からの取材申込みがある場合、可能な範囲での協力をお願いします。但し、創作活動へ支障をきたすと思われる場合、プライバシーを侵害される恐れがある場合は主催者に申し出、取材を断ることができます。
サポーター	ACAC には ACAC スタッフとは別に、期間中の制作、通訳、生活を自主的にサポートするボランティア組織があります。サポートの内容については、主催者を交えた双方の協議を行います。
不測の事態に関する事項	感染症など不測の事態により、事業内容に変更が生じることがあります。その場合は 参加者 と 主催者 との協議により対応を決定しますのでご了承ください。

滞在のモデルケースと支給額

ケース①「クリエイター枠」で9月15日（火）から12月15日（火）まで滞在し、成果発表とサブプログラムの両方を行う場合

交通費 | 上限額：日本在住者 100,000 円、海外在住者 300,000 円

宿泊日当 | 218,400 円

制作費 | 300,000 円

サブプログラム謝金 | 50,000 円

ケース②「クリエイター枠」で10月9日（金）から12月9日（水）まで滞在し、成果発表のみを行う場合

交通費 | 上限額：日本在住者 100,000 円、海外在住者 300,000 円

宿泊日当 | 146,400 円

制作費 | 300,000 円

ケース③「メディアイーター枠」で9月15日（火）から12月15日（火）まで滞在し、サブプログラムを行う場合

交通費 | 上限額：日本在住者 100,000 円、海外在住者 300,000 円

宿泊日当 | 218,400 円

活動費 | 50,000 円

サブプログラム謝金 | 50,000 円

ケース④「メディアエーター粹」で10月9日（金）から12月9日（水）まで滞在する場合
交通費 | 上限額：日本在住者 100,000 円、海外在住者 300,000 円

宿泊日当 | 146,400 円

活動費 | 50,000 円

9 2026 年度 ゲスト審査員

岩間朝子

ベルリンと東京を拠点に、食べるという行為の社会的側面について共に考えるための実験的なワークショップやフィールド・トリップなどを行ってきた。最近の活動では、自然の諸要素と、身体の物質性あるいは主観性との関係の歴史的、技術的な変容を、型を取る、写す、採取するといった身体的関与を取り入れた制作を通じて考察を試みている。2005年から15年まで、スタジオ・オラファー・エリアソン（ベルリン）併設の食堂「The Kitchen」の立ち上げ・運営にコックとして携わり、『TYT (Take Your Time) Vol. 5: The Kitchen』（2013）を制作。2019年から20年まで、オランダ、マーストリヒトのヤン・ファン・エイク・アカデミーにて滞在制作。近年の主な展覧会に、「Punya 2.0」（ベルン美術館、スイス、2024）、「もつれるものたち」（東京都現代美術館、2020）、「フードスケープ 私たちは食べものでできている」（アーツ前橋、2016-2017）、「techne, n.」（Den Frie Centre of Contemporary Art、デンマーク・コペンハーゲン、2014）、「Europe (to the power of) n」（世界文化の家、ベルリン、2012）、「Scenarios about Europe: Scenario 2」（ライプツィヒ現代美術館、ドイツ、2011-2012）など。第5回イスタンブール・デザイン・ビエンナーレ（2020-2021）、ヨコハマトリエンナーレ 2020「AFTERGLOW—光の破片をつかまえる」、第36回サンパウロ・ビエンナーレ公式サテライトイベント「Antipodas: tão distantes, tão próximos」（Sesc Vila Mariana、サンパウロ、2025）、アイセル・ビエンナーレ（ディーレン〈オランダ〉、2025）などの国際展に参加。

10 青森公立大学 国際芸術センター青森[ACAC]について

国際芸術センター青森(ACAC)は、2001年に設立された滞在制作施設を有するアートセンターです。アーティスト・イン・レジデンス(AIR)プログラムを活動の核とし、様々なジャンルの表現者たちによる創造と発表の場として活動を続けています。青森市中心部と行き来できる場所にありながら、八甲田山系の麓、豊かな自然環境の中に位置しています。施設は、世界的な建築家・安藤忠雄により「見えない建築」をテーマとして設計されました。制作に集中できる環境でありながら、コミュニケーションも生まれやすい制作スタジオ（創作棟）、宿泊設備（宿泊棟）を有しています。

ACAC の AIR プログラムでは、この環境でしか実現しえない多様な表現活動が行われることを期待しています。加えて、国内外の表現者たちと地域住民の交流を重視し、関わる人すべてにとって触発される場となることを目指しています。2009 年からは運営が青森市から公立大学法人青森公立大学に移管されたことで、経営・経済や地域づくりを学ぶ大学生との交流も行われています。

11 お問い合わせ

応募に関するお問い合わせはウェブサイト上のお問い合わせからお願いいたします。

*お電話でのお問合せには対応していません。

お問い合わせフォーム：<https://acac-aomori.jp/inquiry/>